

# 幼小中高一貫教育だより

わだち  
轍

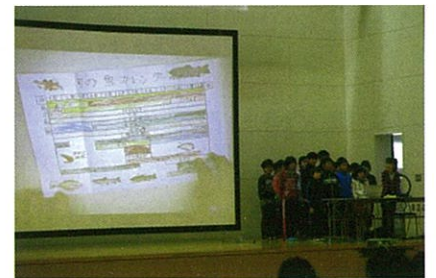
発行：羅臼町幼小中高一貫教育研究会事務局 平成26年12月22日 第2号 (通算22号)

## ユネスコスクール研究発表会を実施

12月10日(水)、春松小学校で第4回羅臼町ユネスコスクール研究発表会を実施しました。春松小学校(4年生)は「羅臼のいいところ再発見」、羅臼小学校(6年生)は「プロフェッショナル 仕事の流儀 羅臼の仕事人スペシャル」、春松中学校(2年生)は「職業体験学習」、羅臼中学校(2年生)は「職業体験学習で学んだこと」、羅臼高校(2・3年生)は「創作料理プロジェクトについて」(プログラム順)で発表しました。幼稚園と小学校の低学年は、羅臼の自然を題材に新聞を作成し、ポスターセッションとして参加しました。

各校、学年で取り組んできた課題とその解決方法、体験したことを進路や町の活性化につなげることなど、パワーポイント(プレゼンテーション用ソフト)などを駆使して、発表方法も工夫を凝らしながら、一生懸命表現していました。

羅臼町では、平成24年度に幼小中高一貫教育が始まり、同時にユネスコスクール(平和や国際的な連携を実現する学校)に加盟しています。このような発表を通して、知床の自然の中に住んでいる私たちが、知床・羅臼のことをしっかり学び、他の地域や世界と協働することが、自然や環境を守ることに繋がります。知床の自然からたくさんの恩恵をもらっている羅臼町のためにも「つながっている」と実感できた発表会でした。



(上) 手作り満載のパンフレットの紹介(春小)



TV番組「仕事の流儀」風の発表(羅小)



薬局での体験を発表(春中)



診療所での体験を紹介(羅中)



チャレンジグルメ2連覇への軌跡(羅高)

## 吹奏楽部の交流が盛んに

中高の一貫教育が始まってから、中学校と高校の部活動の交流が盛んになっています。特に羅臼中と羅臼高の吹奏楽部は、知床開き、漁火まつり、町の文化祭、定期演奏会など町の催しを中心に合同で演奏を披露しています。6年間を通した活動となり、演奏技能の向上や互いの部活動の活性化にもなります。こうした取組がほかの部活動にも波及することを期待します。



羅中・羅高の町の文化祭での演奏

# ♪ # 園児と高校生が音楽を通して ♪♪

10月16日（羅臼幼稚園児が羅臼高校へ）、12月9日（高校生が春松幼稚園に訪問）、12月16日（高校生が羅臼幼稚園に訪問）と延べ3回交流会を行いました。



フルートの音色に合わせて

10月16日の羅臼高校では、「音楽表現」の科目を学んでいる3年生13人と5歳児25人とが、「さんぽ」や「とんぼのめがね」、「山の音楽家」などを合唱し、とても楽しい交流会となりました。校舎見学では、教室で勉強している高校生をじっと見たり、体育館ではところせましと走り回る園児を高校生が追いかけるなど、微笑ましいひとときでした。いつも高校生を相手にしている高校の先生は、園児の無邪気でかわいらしい様子に「癒されます」と感想を話していました。

## 各部会の活動を報告します

### 学力向上部会

#### (1) 第2回一斉研修会（11月21日(金)各校）

幼小中高の先生が教科ごとに集まり、授業研究を行いました。5月の研究授業の課題が改善されているか、また教員同士のつながりのために教科部会の回数を増やしてはどうかなど次年度へつながる研修となりました。



羅臼中学校で美術の研究授業

#### (2) 「学習規律」を作成中です

新年度に向けて、幼小中高を通じての「学習のきまり」を作成しています。

### 特別活動部会

#### (1) 一斉合同清掃活動 9/18(木)

漁港や道路を中心に15カ所に分かれ、小中高が合同で班を組



今年は220kgのゴミでした

み、ゴミ拾いを行いました。毎年のことですが、ゴミの多さを実感し、知床の自然を守るために何ができるのか・何をすべきなのか、羅臼町のこれからを担う世代がこれ

らの問題を考える機会を与えてくれる、有意義な活動となりました。

#### (2) NEW中高生徒会交流を実施 12/9(火)

これまでの生徒会交流を見直し、新生徒会執行部の1年間を見通しでの活動になりました。今回は1回目ということでアイスブレイクをして心を和らげ、羅臼町のイメージを話し合いました。今後はリーダー研修や知床開きでの活動につながるよう交流を深めていきます。



手と手をつないでアイスブレイク

### 総合学習部会

#### (1) 中高合同講演会(10/3 羅臼高校)

NPO法人トラ・ゾウ保護基金理事長の戸川久美様をお迎えして、トラ・ゾウ・イリオモテヤマネコの現状と保護活動に関するお話をいただきました。講演会を通して、自然に対する考え方や野生動物を大切にしていこうという心構えを学ぶことができました。

#### (2) 知床学士検定に36人が挑戦！

12/15(月)に各中学校、高校で実施しました。

中高合わせて36人が受験しました。発表が待ち遠しいです。ちなみに「ヒグマはアイヌ語でなん



全員必死に取り組んでいます

というか？」という問題もあつたそうです。皆さん、知っていますか。

## 編集後記

今年度の一貫教育もあと4か月ほどで節目を迎えます。

こうして改めてこれまでを整理すると、一つ一つは素晴らしい活動です。一つ一つが手と手を結ぶようになっていけばなお良いのだろうと思います。

11月に急逝した池田教育長（本研究協議会会長）に少しでも良い報告ができればと思います。

平成27年もよろしくお願いたします。